

学研賞

パタパタパズルのひみつをあばけ！

佐賀県 佐賀市立赤松小学校3年 古川 豪

講 評

お店でもらった「パタパタパズル」を見て、いったいいくつの面ができるかと考え、実際に作ってみて確かめることから研究が始められました。他の大きさのパズルも同様に作り、そこから規則性を発見し「片面の数（パズルのたて×横－あなの数）÷2＝できる面の数」と式化したところが算数的に優れたアイデアでした。自分で作ったパズルに色づけをし、写真に撮って研究をまとめ、読む人にもとてもわかりやすいものになっています。

中央審査委員会